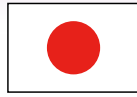




蘭州市



パッサウ市



秋田市・常陸太田市



ウラジオストック市



キナイ半島郡・セントクラウド市

8月1日(火)～8月9日(水)

「秋田市友好・姉妹都市青少年会議」を開催しました

2017年度は、友好・姉妹都市等6都市のうち、茨城県・常陸太田市と40周年、中国・蘭州市と35周年、ロシア・ウラジオストック市およびアメリカ・キナイ半島郡と25周年を迎えることから、この機を捉えて国内外の全ての姉妹都市等の青少年が本市に一堂に会する青少年会議を開催しました。

この会議では、各都市が共通して直面する課題（環境問題）をテーマに、英語を共通語として、地球温暖化に関する講義やグループ討議、市内施設視察を行い、今後の活動に向けた発表等を行いました。

また異なる都市の青少年が同室で宿泊し、ホームステイを通して日本の生活を体験するなど、異文化への理解も深めました。



市長表敬



秋田市役所訪問



新屋ガラス工房でブローチ作りに挑戦



仁井田浄水場・水の学習館の視察



秋田市高校生による秋田市を紹介するプレゼンテーション



グループディスカッション



地球温暖化に関する講義



各都市グループによる成果発表会



弓道体験



秋田市総合環境センターリサイクルプラザ視察

開催に関わってくれた皆さんのコメント

キナイ半島郡参加者

ヒルブリンク サブリナさん

(キナイ・ペニンシュラ大学)

青少年会議を振り返ると、秋田で出会った素敵な人達との素晴らしい出来事を思い出し、幸せな気持ちになります。また、地球温暖化に関する講義も大変価値のあるものでしたし、より良い世界を作っていくためのプランを協力して作る機会を得ました。文化活動も貴重な経験でした。本当に素晴らしい時間を秋田で過ごしました。また秋田に行きたいです。



秋田市参加者

原田 雄生さん

(秋田南高校3年)

見知らぬ外国人は、9日後には離れたくない大切な人になっていました。地球環境に関する話し合いから、笑いあった冗談までのすべてが、私たちの絆を深めるものでした。改めて世界は1つだと実感し、国同士が協力し合うことで、より良い世界を作ることができると思いました。そのためにも秋田市と姉妹都市との関係が長く続き、多くの若者に国際理解を経験する機会を与え続けてほしいと強く願っています。

ボランティア大学生

宮本 歩実さん

(国際教養大学3年)

学生ボランティアとして参加しましたが、私自身も学ぶことの多い4日間でした。環境に関する話し合いの中で「産業廃棄物に関する問題は工場のある国だけのものではない。工場を置く国際企業にも大きな責任がある」というロシア人参加者の発言は印象深かったです。参加者全員が言語や文化が違って、同じ課題を解決しなければいけない仲間であるということを肌で実感できたと思います。



ウラジオストク市引率者

タラセンコ イリーナさん

(第57高校 英語教諭)

このような国際会議はとても有意義であり、次世代を担う若者にとって他国の学生との出会いにより、コミュニケーションの取り方、異文化や他国の習慣に対して寛容になることを学ぶ機会となりました。これから彼らは日本と各国をつなぐ架け橋となることでしょう。また、環境問題についても、学生達にとってゴミのリサイクルなどについて知る良い機会となりました。

ホストファミリー

中川 真由美さん

「どんな子が来るのかな?」「日本の料理は口に合うかな」など、私たち家族の不安を一瞬でかき消してくれるような2人との出会いです。始めは、英語がうまく話せない家族に、2人は何回も表現を変えながら説明してくれました。

男鹿のなまはげ伝承館での体験や、最終日の花火、スイカ割りなど、日本の文化と一緒に味わえたことは、私たちの一生の思い出です。食事の時は、後片付けまで手伝ってくれて、本当の娘が2人増えたような感じでした。別れの時は、寂しくて家族で涙しました。いつかまた会える日を願っています。



(左手前)中川紗季さん(秋田市参加者)、(右手前右から)イアロスロワさん(ウラジオストク市参加者)、ジュリエットさん(キナイ半島郡参加者)

「秋田市国際フェスタ ～秋田市友好・姉妹都市交流展～」を開催しました

秋田市の友好・姉妹都市の魅力を広く知っていただくため、特設ステージでは「秋田市友好・姉妹都市青少年会議」に参加している各都市の高校生・大学生による都市紹介、民族ダンス等のほか、ゲストとして「変面」継承認定者・江玉さんによる中国伝統芸能・「変面」や土崎南小学校港ばやし部が「港ばやし」を披露しました。

また、各都市紹介ブースでのパネル展示やパンフレットの配布のほか、飲食ブースではドイツのワインやソーセージなど、各国の特産品を販売しました。



中国伝統芸能・「変面」



ウラジオストク市参加者による歌



小学生による港ばやし



パッサウ市参加者による歌と演奏



キナイ半島郡の紹介ブース



セントクラウド市参加者による都市紹介



各都市参加者と大学生ボランティア



ファッションショーで日本の制服を披露

蘭州市研修員4名が秋田市で研修します

今年も医師2名、教員2名が来秋し、2か月間の研修を行います。

研修先 市立秋田総合病院

楊 斌 (Yang Bin) さん、陳 新悦 (Chen Xinyue) さん

研修先

御所野学院中学校・高等学校、秋田公立美術大学附属高等学院、秋田県立秋田南高等学校

趙 新佐 (Zhao Xinzuo) さん、董 曉霞 (Dong Xiaoxia) さん





7月6日(木)～10日(月)

提携35周年を記念し、蘭州市で秋田市のPRを行いました

今年は蘭州市と友好都市提携35周年を迎えることから、蘭州市で開催された投資貿易商談会で、秋田市を紹介するブースを設置し、秋田の観光パンフレット等を配布したほか、秋田塗の箸作り体験や新生八橋人形の絵付け体験なども実施しました。期間中は、毎日約1万人が会場を訪れ、秋田市ブースにも子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方々にお越しいただきました。

秋田市が蘭州市の友好都市であることを知っている方が大変多く、両市のこれまでの交流の成果が蘭州市民の皆さんに広く浸透していました。



秋田市紹介ブース



秋田の観光パンフレットを配布



秋田塗の箸作り体験



新生八橋人形の絵付け体験



7月20日(木)～26日(水)

提携25周年を記念し、秋田市訪問団がキナイ半島郡を訪問しました

今年はキナイ半島郡と交流合意都市提携25周年を迎えることから、穂積市長をはじめとする秋田市訪問団がキナイ半島郡を訪問し、竿燈会の皆さんがプログレスデー・パレードなど現地のイベントで竿燈妙技を披露しました。

竿燈のインパクトはとて大きく、間近で見た見物客からは、「来てくれてありがとう!」、「こんな素晴らしい演技を見たのは初めて!」など、多くの方から喜びの声をいただきました。

観光シーズンに当たるこの時期は、全米各地から多くの観光客がアラスカを訪れており、市民だけでなく、多くのアメリカの方々に竿燈を通して秋田市をPRすることができました。



アラスカ州旗を描いた提灯をプレゼント(中央はナヴァー市長)



ふれあい竿燈



キナイ半島郡市長を表敬訪問



プログレスデー・パレードでの竿燈

お問い合わせ

秋田市 企画調整課 国際交流担当 TEL 018-888-5464

秋田市 企画調整課 国際交流担当HP

<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/in/default.htm>